

教科用図書選定に関する経過報告書

第九地区教科用図書採択協議会

第九地区内の市町立小・中学校及び特殊教育諸学校の小・中学部において使用する教科用図書を公正かつ適正に選定するために、第九地区教科用図書採択協議会を設置するとともに調査研究を重ね、選定業務を完了した。

以下、公正かつ適正な選定に至るまでの経過、結果及び理由並びに採択協議会委員名及び選定委員会総括部会委員名を明らかにする。

1. 本協議会並びに諸委員会の経過

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

- ・ 4月11日（水） 平成30年度第九地区教科用図書採択協議会委員員について、平成29年度事業報告、平成29年度決算報告及び監査報告、第九地区教科用図書採択協議会規約、第九地区教科用図書採択協議会の文書開示に関する要項、教科用図書採択事務運営要項、教科用図書採択協議会事務局の組織について、選定委員会委員の選考、平成30年度第九地区教科用図書採択協議会予算について、平成30年度第九地区小学校教科用図書採択日程について等の検討
- ・ 4月24日（火） 学識経験者、保護者代表、選定委員会委員の選考等を審議の上、決定等
- ・ 5月23日（水） 見本本巡回展示を計画
- ・ 5月29日（火） 選定委員会委員に対して調査審議を委嘱
- ・ 8月 2日（木） 選定委員会の答申を受け種目ごとに一種の小学校及び中学校特別の教科道徳教科用図書を選定
- ・ 8月 2日（木） 第九地区内の市町教育委員会に選定の結果を通知

(2) 選定委員会

- ・ 5月29日（火） 採択協議会の諮問を受け日程等の確認、また、各学校への意見書提出要請を計画
- ・ 7月 9日（月） 教科用図書採択に係る各学校からの意見書集約
- ・ 7月13日（水） 中学校調査研究部の調査研究結果の報告と質疑
- ・ 7月27日（金） 学識経験者、保護者意見聴取 答申案作成
- ・ 8月 2日（木） 種目ごとに原則として三種以上の小学校及び中学校特別の教科道徳教科用図書を採択協議会に答申

2. 選定の結果（小学校）

教科用図書 教科(種目)		発行者の		教 科 書 名	備考
		番 号	略 称		
国 語	国 語	2	東書	新しい国語	
	書 写	2	東書	新編 新しい書写	
社 会	社 会	1 7	教出	小学社会	
	地 図	2	東書	新編 新しい地図帳	
算 数		6 1	啓林館	わくわく算数	
理 科		4	大日本	新版 たのしい理科	
生 活		6 1	啓林館	わくわく せいかつ（上） せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ（下）	
音 楽		1 7	教出	小学音楽 音楽のおくりもの	
図画工作		1 1 6	日文	図画工作	
家 庭		9	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6	
体 育		2 0 8	光文	新版 小学ほけん 3・4年 新版 小学保健 5・6年	

選定の結果（中学校）

教科用図書 教科(種目)	発行者の		教科書名	備考
	番号	略称		
道徳	2	東書	新しい道徳	

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シ リ ーズ)
	番 号	略 称	
国語	2	東書	新しい国語

4 選定理由

①内容の範囲及び程度

- ・国語科及び各学年の目標達成に結びつく内容になっており、3領域1事項がバランスよく学習できるように、児童の発達段階やつきたい力に即して単元を配列している。
- ・内容の程度は、一教材一領域を原則に構成し、児童の発達段階に即して、学習のねらいを重点化している。

②内容の取扱い

- ・「話すこと・聞くこと」については、年間4か所（学年によっては5カ所）学年によって単元を設け、それぞれのねらい（①話す②聞く③話し合う④説明・報告）を明確にし、目的に応じて主体的に、話す力、聞く力、話し合う力を育成できるように系統的に配列している。特に少人数を含め、段階的に話し合う力を育成できるように配慮している。
- ・「書くこと」については、技能にねらいを絞った単元と、さまざまな種類の文章を書く単元を効果的に配列し、「目的に応じて何をどう書くか」を丁寧に示すとともに、他教科との関連を図った教材を位置付けている。
- ・「読むこと」については、育成する力と系統を明確にして教材を配列し、情報を収集し活用する力につながる学習が展開されている。単元末の「てびき」には、ねらいに即した学習課題（活動目標）を明示するとともに、何をどのように読み取っていくのかを詳しく示している。学習の発展として、文学・説明文教材の関連図書を巻末に紹介したり、夏休み前は、学習活動に読み広げを取り入れたりして、年間を通じて多読を促し、多様な読書活動に取り組めるようにしている。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、「日本の言の葉」を各学年に設け、優れた言語文化への理解と愛着を持つことができるようにするとともに、「日本語のしらべ」を2年生以上の各学年に設け、四季折々の自然や風土行事や慣習に関わる言葉や詩歌を味わい、豊かな言語感覚を培うことができるようにしている。

③内容に関する配慮事項

- ・学習に必要な用語への理解を深めるために、3年以上の各巻末に「学習で使う言葉」を設け、大切な用語を一覧に示している。
- ・ねらいに即した言語活動を通して学ぶことができるように、単元名に、児童が単元を通して取り組む言語活動を示している。
- ・既習の「言葉の力」の活用を促し、各単元の既習事項との関連を示す「つながる」欄や、「言葉の力」を他教科等の学習や実生活に活用できるように、「ひろがる」欄を設けている。
- ・学力の基盤としてのノート作りを重視し、全学年に「国語のノートの作り方」の欄を設けている。
- ・日常的なコミュニケーション能力を育てるため、日常会話の一場面から、互いの立場を尊重したコミュニケーションへの気づきを促す「生活の中の言葉」を設けている。

④分量

- ・発達段階に応じた分量である。
- ・ふろく「言葉の世界」には、多様な読み物や言葉に関わる内容が取り入れられ、語彙を豊かにするための配慮をしている。

⑤使用上の便宜

- ・一年間の学習を見通すことができるように、2年以上の各学年冒頭に学習のロードマップのページを設け、領域ごとに年間の「言葉の力」のつながりを系統的に位置づけている。
- ・行を見付けたり指示したりしやすくするために、すべての物語、説明文教材の脚注罫に、5行ごとの行数字に加え、1行ごとにドット（点）を示し児童の視点での学習しやすい配慮がされている。

⑥印刷、製本等

- ・5・6年の教科書は、中学校との接続を考慮して学年で1冊としている。
- ・学習のポイントをまとめるところでは、学習の基礎・基本のまとめ枠囲みにして着色し、明確に可視化できるようにしている。児童にとって分かりやすい配慮をしている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
国語(書写)	2	東書	新編 新しい書写

4 選定理由

①内容の範囲及び程度

各学年、「硬筆を使用する書写（3年以上は硬筆及び毛筆）」の指導をすることができ正しく整えて書くことができる内容になっている。毛筆書写の能力の基礎を養う内容にしている。硬筆との関連を表示している。

②内容の取り扱い

- ・入門期としての姿勢、筆記具の持ち方を図・写真で示し分かりやすく説明している。
- ・硬筆は、1・2年で点画・筆使い、3・4年で字形の整え方、5・6年で配列に重点を置き、毛筆は、3・4年で点画の筆使いや筆圧、5・6年で字配りや点画のつながり、穂先の動きに重点を置いて、構成している。
- ・3年以上は、単元ページの左端に注意するポイントと関連ページを示しているとともに、巻末に、前学年までに学習した内容をまとめている。

③内容に関する配慮事項

- ・毛筆と硬筆とを関連させて学習が展開できるように教材が配列され、書写学習で身に付けた知識や技能を生活に生かす力を育てる応用教材として「生活に広げよう」を設けている。
- ・各学年とも、「書いて味わおう」で我が国の伝統的な言語文化に触れる場の設定がある。
- ・全学年、振り返りの欄があり、主体的に学ぶことができる構成にしている。

④分量

- ・1・2年は4単元、3・4年は8単元、5・6年は7単元で構成され、児童の発達段階に応じた教材数でバランスよく構成し、書写に関する資料も取り上げられるなど適切な分量になっている。

⑤使用上の便宜

- ・児童が親しみやすいような写真や図を配置し、学習意欲の喚起や内容の理解の手助けとなるような配慮を行っている。
- ・低学年には、「できたよ シール」で児童の意欲を高めている。
- ・朱色を使った2色で毛筆教材を提示し、穂先の動きが視覚的に分かりやすいように工夫している。
- ・写真や図を使い、姿勢や執筆法についてわかりやすく示している。
- ・教科書の横幅が、A4判よりやや広い。毛筆教材は、128%に拡大すると半紙とほぼ同じ大きさになる。

⑥印刷・製本等

- ・表紙、挿絵、写真、文字などの印刷は鮮明で見やすく分かりやすい。また、文字の大きさや字体製本等は適切である。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番 号	略 称	
社会科	1 7	教 出	小学社会

4 選定理由

（１）内容の範囲及び程度

- ・教科の目標、学年の目標（理解、態度、能力に関する目標）を達成できる内容及び範囲である。
- ・様々な資料が掲載され、それを活用した問題解決学習が展開できる。

（２）内容の取扱い

[3・4年]

- ・県内の特色ある地域に関する内容については、東峰村、太宰府市※１、宗像市※２が取り上げられており、児童にとって比較的身近な地域であり、学習しやすいと考える。※１、２はいずれかの選択である。
- ・身近な地域についての学習では、同じ地域の写真と地図が見開きに掲載されており、写真と地図の関係を捉えやすく、児童が地図を作成したり写真から平面地図へ移行したりする際の配慮がなされている。

[5年]

- ・工業生産の学習では、福岡県荏田町の自動車工場が取り上げられ、県内の工場ということで身近に捉えやすく、関心を高めることができる。
- ・情報産業及び情報化した社会の様子についての学習では、どのように情報が伝わるかについて写真や図、関係機関に従事する人への聞き取り調査の内容など豊富な資料が掲載され、それを活用した問題解決学習が展開できる。
- ・環境保全では、北九州市の公害問題とこれまでの歩みを取り上げている。また、自然災害の防止では、東日本大震災の発生を基に、災害への備えの様々な例について写真や図などの資料を交え掲載されている。これらにより、児童が災害等の状況を把握し、防災意識を高めながら学習を進めることができる。

[6年]

- ・歴史学習では、単元はじめの想像図などの資料が大きく掲載され、学習への関心を高めたり、資料の読み取りを基に学習問題を設定したりすることができる。
- ・日本とつながりの深い国々についての学習では、「韓国調べ」などのタイトルで複数の国々を生活、文化、産業などの観点から取り上げ、日本とのつながりの特徴が分かるようになっている。また、それらのまとめ方が分かりやすく、調べ学習の参考にもできる。
- ・政治の働きでは、東日本大震災も取り上げられ、災害から国民を守る政治という視点からも学習を展開できる。

（３）内容に関する配慮事項

- ・「つかむ」「調べる」「まとめる・深める」という学習段階が明示されており、問題解決学習の過程が分かりやすくなっている。また、「活動」という項目で学習活動内容が細かく記されていたり、特に能力に関する目標につながる具体的活動について学びの手引きが示されたりしているので、学習の手がかりにすることができる。
- ・全体的に写真やグラフ、聞き取り調査の内容など資料（記号付き）が豊富で、それらの資料等を活用した学習展開が可能である。
- ・「まとめる」では、キーワードやまとめ方の例が示され、児童が技能や思考力・判断力・表現力を身に付けることができるようになっている。
- ・写真だけでなく、写真の場所はどこかを知らせる地図を一緒に掲載することで、児童が基礎的資料に多く触れられるように工夫されている。
- ・「キーワード」という項目で重要語句を示している。

（４）分量

- ・3，4年生にとって適当である。

（５）使用上の便宜

- ・文字の大きさは適当である。
- ・巻末の資料や索引も学習に活用できる。

（６）印刷・製本等

- ・色や見やすさについてユニバーサルデザインの視点で作成されている。
- ・再生紙を使い、しっかりと作られている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シリーズ)
	番 号	略 称	
地図	2	東書	新編 新しい地図帳

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 各学年の学習内容に必要な地図資料・統計資料が過不足なく適切に取り上げられている。
- 環境問題、国際化、世界遺産、自然災害等の現代社会に対応した内容となっている。
- 国土の学習に必要な地形・気候・産業などを適切に扱っている。

(2) 内容の取り扱い

- 「都道府県の名称と位置」や「日本の自然災害」「世界地図と地球儀」について、写真やイラストを使ったり、過去のデータを使ったり、学び方を示したりして、地図帳を使って興味深く学習できるように工夫している。
- 日本も世界も地域別の地図のページには、「地図上の距離を示すものさし」があり、分かりやすくなっている。さらに、地図や都道府県・各国の名称の文字や記号が大きく書かれており、見やすくなっている。
- 「日本とそのまわり」「日本列島」では、日本の海の面積について説明すると共に、尖閣諸島（石垣市）、竹島（島根県）と掲載している。ただ、「境界線については、関係国と協議中のところもあります」と明記している。

(3) 内容に関する配慮事項

- 巻頭に「地図の使い方」が掲載され、初めて出会う地図帳として、地図や地球儀に親しみ、基礎的な地図の見方や学習活動における活用の仕方が身につくようにしている。
- 巻末の「日本の自然災害」では、九州北部豪雨等、日本各地に甚大な被害をもたらした災害や災害に備える国や地域の取り組みを取り上げている。写真やイラストを使ったり、過去のデータを使ったり、地図帳を生かして学習できるように工夫している。
- 世界の地域別地図には、同じ縮尺の日本地図が描かれ、国の大きさが比較できるようにしてある。最後のページの世界全図の周りに各国の国旗を州ごとに囲んで示している。

(4) 分量

- 全体で94ページ、国土や産業などの学習に必要な資料が多く、適切な分量である。
- 巻末近くに、「日本の自然、食料・工業生産、貿易、歴史と文化」や「日本と世界の自然」のページがあり、4年生から6年生までの様々な学習で活用できる。

(5) 使用上の便宜

- A4サイズの地図帳であり、文字や絵などが見やすく情報量も多い。
- 表やグラフでの日本と世界の比較、島や湖等の直接比較など、分かりやすい。さらに、統計資料のページや索引の行間、絵図、文字の大きさや配色の工夫に配慮が見られ、資料集として使いやすい。
- 日本も世界も地域別の地図のページには、「地図上の距離を示すものさし」があり、分かりやすくなっている。さらに、地図や都道府県・各国の名称の文字や記号が大きく書かれており、見やすくなっている。

(6) 印刷・製本等

- 植物油インキや再生紙を使用するなど環境への配慮も見られる。
- 表紙は長期間使用に耐え得る丈夫な紙を使用し、製本がしっかりしている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シ リ ーズ)
	番 号	略 称	
算数	6 1	啓林館	わくわく算数

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- 算数科の目標を達成する内容になっており、内容の程度は、その学年の発達段階に応じたものになっている。
- 第2学年以上には、論理的な思考力を育む「考えを広げよう、深めよう」が設定され、また、活用力を高める「学びをいかそう」も位置付けられている。
- 「A数と計算」については、数の意味と表し方を理解することや量感を伴った数についての感覚を豊かにすること、基礎的・基本的な計算能力を確実に身に付けること、詳細な考察と共に目的に応じた概観ができるようにする内容になっている。
- 「B量と測定」については、量の単位と測定について理解することや量の大きさについての感覚を豊かにすること、実生活に活用する態度を養える内容になっている。
- 「C図形」については、図形の意味と性質について理解し、図形についての感覚を豊かにすることや空間と図形に関する直観力・洞察力を養える内容になっている。
- 「D数量関係」については、数量に関する事柄を言葉や数、式、表、グラフ等によって表現すること、統計について目的に応じた資料収集や表・グラフ等の表現、それらの分析・考察などができるような内容になっている。

(2) 内容に関する配慮事項

- 自分で考えたり、調べたりしてわかったときの喜びやおもしろさを味わうことを大切に算数的活動が積極的に取り入れられている。
- 基礎・基本の確実な定着を図る「たしかめましょう」や類似問題「もっと練習」を設定し、知識・技能の定着と習熟を図るように配慮されている。
- 第5、6学年には、社会人からのメッセージを掲載し、将来について目を向けられる「算数から仕事へ」を設定し、キャリア教育への対応について配慮されている。

(3) 分量

- 指導内容と児童の発達段階を考慮し、確実に知識を理解し技能を身につけ思考力や表現力が向上するように配分されている。

(4) 使用上の便宜

- 学力向上への対応として、解決に至る過程や考え方を説明する活動や判断の根拠について話し合う活動が系統的に扱われ、表現力が身につくように構成されている。
- 内容の系統性だけでなく、習熟に要する時間や実生活に関連づけた活動の季節などにも考慮した配列で構成されている。
- 新しい内容の学習に入る際には、既習と関連づけながら必要な内容を明らかにした「準備」のページを設定した構成となっている。
- 第2学年以上から最後のページに各学年で学習する内容をまとめた「〇年生までのまとめ」を設定している。

(5) 印刷・製本等

- 文字の大きさや字体等、児童の発達段階を考慮して読みやすいよう配慮している。
- 書き込みができるスペースなどレイアウトに工夫がされている。堅牢かつ、左右にページをいっぱい開いても支障のない綴り方で製本されている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名（シリーズ）
	番 号	略 称	
理 科	4	大日本	新版 たのしい理科

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・理科の目標達成に結びつく内容で、範囲と程度はその学年の児童の発達段階にきちんと適応している。
- ・実感を伴った理解を図るために、日常生活と関連付けた導入になっており、子どもが想起しやすい構成になっている。また、実際に観察・実験が行いやすい例示が多く、子どもが実感を伴った理解が図れるように配慮されている。
- ・問題解決能力の育成に関しては、目次後に見開き2ページで「理科の学び方」を明記し、問題解決の過程と、各学年で身に付ける能力を適切に説明しており、単元ごとに「理科の学び方」に振り返って問題解決できるように配慮されている。
- ・〔A 物質・エネルギー〕については、観察・実験を通して探究し、学んだことを生かしてものづくりができるようになっている。また、身近な自然現象を直接体験する活動や、身の回りの素材や材料を活用した観察・実験、ものづくりを適切に取り上げている。
- ・〔B 生命・地球〕については、観察やモデルを通して、自然災害などの視点と関係付けて探究する内容になっている。また、学習内容が分かりやすい地域を厳選し、児童が身近な自然に興味を持つように配慮されている。
- ・生活科との関連や科学的体験、自然体験については、A領域に関してどの単元にも「ものづくり」を位置付け、科学的な体験と関連付けている。
- ・資料を調べる活動において、インターネットで調べる方法を紹介している。また、図書館や科学館などの地域の科学的な情報に関する施設の利用についても十分に配慮されている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・各教科等及び各学年の関連や内容の系統性に関しては、「ふりかえろう」のページを設定し、当該学年で学んだ内容と、他の学年とのつながりを示し、系統性が配慮されている。
- ・言語活動の充実については、「理科の学び方」の中で、観察・実験の結果を図や表で整理して考察すること、自分の考えを説明することを提示している。さらに、単元末の「たしかめよう」「学んだことを生かそう」のコーナーにおいて、科学の用語を使って正しく整理することができるように配慮されている。
- ・体験的な学習や問題解決的な学習の重視に関しては、問題を解決する観察・実験の方法や手順を示し、問題解決的な学習が進められている。それぞれの学習内容では、「問題」「予想しよう」「計画を立てよう」「考えよう」「わかったこと」というマークを入れて問題解決ができるようにしている。また、実験の手順が丁寧に記述されており、イラストの吹き出しを参考に自主的に学習が進められるように配慮されている。
- ・体験活動、実験・実習に対する安全・衛生面の配慮に関しては、「注意」を赤色と黄色の文字で表記し、目立つように明記されているとともに、取扱いを注意する理由と具体的な正しい方法を説明している。

(3) 分量

- ・指導内容が厳選されており、余裕をもって学習内容が設定されている。また、授業時数から見て、内容が適切に配分されている。

(4) 使用上の便宜

- ・学習の課題や重要な語句については、目的に応じて書体や色、枠飾りなどで表記し、適切に表現されている。
- ・「りかのたまてばこ」、「ジャンプ」、「学んだことを生かそう」では、生活に関連させることを意識して掲載し、理科を学ぶ意義や有用性を実感できるように工夫されている。

(5) 印刷・製本等

- ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、サイズがA B版で適切である。
- ・再生紙や植物性インキが使用されており、環境に配慮されている。
- ・表紙が抗菌処理されているとともに、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

3 選定した教科用図書

種目	教科書の発行者		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
生活	61	啓林館	わくわく せいかつ（上） いきいき せいかつ（下） せいかつたんけんブック（別冊）

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・ 具体的な活動を通して、身近な人々との関わり、興味・関心に応じて活動ができ、目標が達成できる内容になっている。
- ・ 上巻は主として「学校」、下巻は「地域」が対象となっており、発達段階を考慮して構成されている。
- ・ 9つ内容が児童の発達段階に即して過不足なく組み込まれ、児童の発達段階に即して軽重を付け、各単元に配当されている。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・ 直接対象と関わる活動や体験活動を通して、繰り返し「人や自然」「もの・こと」に関わることができるように構成されている。
- ・ 地域の人々、社会、自然が一体的に取り扱われ、人との関わりを具体的に示している。
- ・ 児童の発見・感動が知的な高まりにつながるきっかけになるよう、写真・イラスト・カード・本文・キャラクターなどが効果的に活用されている。
- ・ 挿絵や写真で幼児・高齢者・外国人などとの関わりを具体的に例示している。
- ・ 飼育栽培への動機付けに工夫が見られる。また、具体的な接し方や世話の方法についてもわかりやすく表記されている。
- ・ 身に付けさせたい人との関わりのルールやマナー、情報と交流の手段の活用、基本的な生活習慣や技能についても具体的に示している。
- ・ 他教科との関連を図った活動や3年生への接続を意識した資料が紹介されている。
- ・ 調べる、まとめる、伝え合うなどの活動や表現物・表現方法を例示し、言語活動を重視している。また、交流を主なねらいとした単元も設定されている。
- ・ 季節による変化を定点描写することで、比較の観点や変化の要因を多様に考えるよう取り扱っている。
- ・ 活動例を多く併記し、個々の願いや興味に応じて選択できるように工夫されている。
- ・ 飼育や栽培に継続的に関わることにより、生命の大切さや素晴らしさ、温かさを実感するように配慮されている。また、安全を守ってくれている人・場所等への気付きにも配慮されている。
- ・ 別冊「たんけんブック」が設定され、児童の実態に応じて自由に選択・活用できるようになっている。また、教科書に関連ページが記載されている。
- ・ 季節の変化や校外への興味関心、学校行事等に即して単元を適切に配列している。

(3) 分量

- ・ 上巻：10単元115ページ（133ページ：含、わくわくずかん）
- ・ 下巻：8単元100ページ（125ページ：含、いきいきずかん）
- ・ たんけんブック：B5版49ページ

各単元のバランスが図られ、鮮明な写真やイラストが多数使われている。

(4) 使用上の便宜

- ・ 一つの活動が見開きを基本に構成されていて、活動の内容が見やすい。また、両開きで期待感をもたせる工夫もされている。
- ・ 気付きを高めるためのマーク（「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」）やキャラクターの吹き出しが効果的に使われている。

(5) 印刷・製本等

- ・ 材質、文字や絵、写真等の印刷、製本もよく、カラーユニバーサルデザインの配慮がされている。
- ・ 「たんけんブック」は、穴開け加工が施され、ひもを通すなどの利用もできるようになっている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シ リ ーズ)
	番 号	略 称	
音 楽	1 7	教出	小学音楽 音楽のおくりもの

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ア 音楽科の目標が達成できるようになっており、適切である。
- イ 内容の程度は、学年の発達段階に適応するように考慮されている。
- ウ 音楽科及び学年の内容に示す事項を十分に不足なく取り上げている。

(2) 内容の取り扱い

- ア 音楽のよさの感受、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりできる内容である。
- イ 主題名の下に共通事項が「葉っぱマーク」で明記され、指導に生かせるように配慮されている。
- ウ 共通教材に多くのスペースを使用し扱っている。また、美しく迫力ある写真と縦書きの大きな文字で、曲のイメージがとらえやすい。3年生～5年生は「歌声」や「スキルアップ」で歌い方を身につけられる内容になっている。
- エ 鍵盤ハーモニカやリコーダーでは、基礎指導を大切にしている。他の楽器も奏法が写真で説明され、和楽器にも挑戦できるようになっている。
- オ 5・6年生共に表現形態を選択できる歌唱教材と器楽教材とがある。
- カ 「音のスケッチ」として、すべての学年で音楽づくりがあるが、その他にも様々な楽曲が取り上げられ、イメージを膨らませて音遊びや音づくり、旋律づくりができるようになっている。
- キ 鑑賞では、様々な楽曲が取り上げられていて、曲想と要素との関わりを的確にもたせることができる構成になっている。
- ク 題材ごとに1～6の共通事項が記載されている。新出の音楽用語や音符は教科書右側に整理して記載し、巻末に「音楽のもと」としてまとめられていて、音楽科としての言語活動の充実が図られている。

(3) 内容に関する配慮事項

- ア 主要部分は、題材群1と題材群2で構成されている。各題材は、2年間を通じて系統的に取り扱われている。
- イ 3年生以上に書き込み可能なポートフォリオ形式の鑑賞ノートがある。
- ウ 「てんとう虫マーク」で活動のポイントが記載され、「～しよう」という呼びかけで児童の自主的な活動を促している。
- エ 学習の手助けとして3種類のマークがどの学年にも共通して使われている。
- オ 楽器の扱いや友達の活動で、安全面について配慮されている。
- カ 「はってん」として、一律に学習する必要がないことが明記してあり、支障がないように配慮されている。

(4) 分量

- ア 低学年、72ページ、3年生、76ページ、4年生、80ページ、高学年80ページ。2年生は、9題材、3・4年生は、8題材、1・5・6年生は7題材である。
- イ 年間授業時数からみて適切に配分されている。
- ウ 内容に偏りがなく、調和がとれている。

(5) 使用上の便宜

- ア 迫力のある写真や絵、透明シート、コラムなどがあり、学習に生かせる。
- イ 裏表紙と目次に一律に学習する必要がないことが明記されている。

(6) 印刷・製本等

- ア 印刷は、鮮明である。A B判再生紙利用。折り込みの折り目が5mm内側に入っている。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
図画工作	1 1 6	日文	図画工作

4 選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ・ 図画工作科の目標達成に向けて、題材ごとのねらいが4つの観点ごとに示され、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる内容となっている。
- ・ 児童の発達段階に応じた学ぶべき力を考慮した題材の配置がなされ、系統的に配列されている。
- ・ 表現に関しては、領域のバランスを考慮した内容構成であり、1つの題材に違う材料や表現方法での展開例が示され、学校や児童の実態に応じた学習活動が展開できるようになっている。
- ・ 鑑賞に関しては、造形作品と生活との関わりや作品の展示、鑑賞の場などが紹介され、鑑賞活動の楽しさを味わえるようになっている。
- ・ 各題材以外に、身近なものの形や色の美しさを取り上げ、イメージを広げたり、発想・構想のヒントにしたりできるようなページを設けている。

（2）内容に関する配慮事項

- ・ 各題材のめあてを4つの観点から児童の言葉で具体的に分かりやすく示しており、児童が見通しをもって活動できるようになっている。
- ・ 児童の活動中のつぶやきや思いが記述されたり、全題材でクレヨンのキャラクターが活動のヒントを示したりして、言語活動を活発にさせる工夫がなされている。
- ・ 材料や用具の取扱いでは、各学年で取り扱う材料や用具の紹介、安全な扱い方、さらに効果的な表し方に関する内容も分かりやすくまとめている。

（3）分量

- ・ 全体の分量、各領域の分量ともに適切であり、題材がバランスよく配置してある。
- ・ 様々な材料や用具、色や形についての内容が紙面いっぱい示され、児童の造形に対する関心を高めるように工夫している。

（4）使用上の便宜

- ・ 学習のめあて、材料や用具、つくり方、活動の様子が流れに沿って効果的に示されており、造形活動に有効に働くように配置されている。
- ・ 「きをつけよう」「かたづけ」が掲載され、造形活動での安全面の留意事項や片付けの仕方が分かりやすく示されている。

（5）印刷、製本等

- ・ 表紙はビニル加工で、ミシン綴じされ、美しく堅牢である。
- ・ 文字や作品の印刷は鮮明であり、文字の大きさ、色、字体、余裕のあるレイアウトなどの工夫が見られる。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発 行 者 の		教 科 書 名 (シ リ ーズ)
	番 号	略 称	
家 庭	9	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6

4 選定理由

(1) 内容の範囲及び程度

- ・範囲は、学習指導要領の内容ＡＢＣＤに適合している。
- ・程度は、学年の児童の発達段階に適合している。

(2) 内容に関する配慮事項

- ・１～９の観点から見て、いずれも内容を満たしている。
- ・家族・家庭に関する内容については、巻頭の見開きと目次が、ガイダンスとして活用できる。また、巻末に学習したことを振り返ったり、中学生になる期待を記述したりすることにより、自分の成長を振り返ることができる。
- ・食生活に関する内容については、栄養を考えた食事や調理の基礎に重点が置かれている。また、児童の発達段階に応じた食材の選び方や季節に配慮した題材の配列になっている。
- ・身近な消費生活と環境に関する内容については、身近な物の選び方や買い方、環境に配慮した物の活用等において、他の内容との関連が図られ、実践的に学ぶことができる。
- ・５年生では基礎・基本、６年生では生活に生かす力を育成する内容になっている。また、他教科・他学年との関連も図られ、系統的・発展的に指導ができる。
- ・実践的・体験的な活動「調べよう」「やってみよう」と、説明の観点が明示された言語活動「話し合おう」が関連づけられており、生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解することができる。
- ・一単位時間ごとに「できたかな」「振り返ろう・生かそう」がチェック形式で表記され、自己評価することにより、自分の成長を感じることができる。
- ・巻末に「家庭学習でよく使われる用語」とその関連ページがＡＢＣＤの内容ごとに表記され、自主的・自発的に学ぶことができる。
- ・体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。

(3) 分量

- ・全体の分量は、１７題材１１３ページで授業時数から考えて適切である。
- ・ＡＢＣＤの内容に偏りがなく、調和がとれている。

(4) 使用上の便宜

- ・見開きページを有効に使い、活動の手順や方法、手の動き等が写真や絵図を用いて分かりやすく説明されている。
- ・裏表紙に食材の切り方・むき方の写真が掲載されており、実習時に容易に確認ができる。
- ・【発展】マークが有り、発展的な内容であることが明示されている。

(5) 印刷・製本等

- ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切である。
- ・調理例や製作例の写真が鮮明で、児童に興味・関心を持たせることができる。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
保健体育	208	光文	新版 小学ほけん 3・4年
			新版 小学保健 5・6年

4 選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ア 保健学習の目標達成に結びつく内容になっている。
- イ 内容の程度は、学年の発達段階に適応している。
- ウ 学習指導要領に示す教科及び学年の目標及び学年の内容に示す事項を不足なく取り上げている。

（2）内容に関する配慮事項

- ア 各教科等及び各学年間の関連については、他教科や他学年とのかかわりが書かれてあり、系統的・発展的に指導できるよう配慮されている。
- イ 言語活動の充実に関して配慮されている。
- ウ 問題解決的学習については、自分の経験や、考えを基に話し合う活動が設定されている。
- エ 個に応じた配慮に関しては、記述欄やチェック欄を設けて、振り返る活動ができるようにしている。
- オ 体験活動や実験等に関する安全・衛生面の配慮がされている。
- カ 学習指導要領にない内容を取り上げる場合は、「はってん」として記載しており、学習する上で支障がないように配慮されている。その内容は、現代的な課題を多く取り扱っている。

（3）分量

- ア 総ページ数は3・4年生29ページ、5・6年生49ページで、内容は授業時数から見て適切に配分されている。
- イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。
- ウ 各領域の内容に偏りがなく、調和がとれている。

（4）使用上の便宜

- ア 本文、問題、説明文、注、作品、写真、図などが多様に配置されている。特に、資料は、新しいデータが使われている。
- イ 「はってん」というマークがあり、発展的な学習内容の明示がされている。

（5）印刷・製本等

- ・ 印刷は鮮明で、イラストや写真・図が多く記載されているページがある。
- ・ 製本の様式はB5サイズでランドセルに収納しやすく、再生紙、植物油インキを使用している。

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名（シリーズ）
	番号	略称	
道徳	2	東書	新しい道徳

4 選定理由

（1）内容の範囲及び程度

- ・学習指導要領を踏まえ、全ての内容項目について学習できるように、適切な話題や題材が取り上げられている。
- ・発達段階に応じ、ねらいを達成する上でふさわしい内容である。

（2）内容の取り扱い

- ・「生命尊重」「いじめ問題」等の内容は、各学年3時間扱いのユニット構成とし、多面的・多角的に考えるように配慮されている。
- ・「情報モラル」「防災・安全」などの現代的な課題に関する教材が配置されている。
- ・「テーマで振り返ろう」「読書で広げる道徳」など、各教科での学びを道徳科の学習に生かせるように配慮されている。

（3）内容に関する配慮事項

- ・各学年のオリエンテーションで道徳授業の基本的な流れを提示することで、本編全体を通して、主体的・対話的な学びが出来るように配置されている。
- ・各学年、問題解決的な学習やグループエンカウターの手法を用いたコミュニケーション活動を通して議論や協同的な学びが出来るような教材を取り上げている。

（4）分量（ページ数、割合等）

- ・全ての内容項目について取り上げ、学年の発達段階と指導時数から見て、適切な分量（本編30本、付録5本）である。

（5）使用上の便宜

- ・授業の中で、印象に残った話や学んで良かったことをメモしておける巻末の「自分の学びを振り返ろう」により、学期ごとに自己の成長を見つめることができ、評価にも活用できるようにしている。
- ・どの教材にも、重点的に考える発問と自己を見つめる発問が掲載されていて、焦点化した内容になっている。
- ・学習支援ツールとして、巻末に心情円があり、心情や思考の変化を視覚的にとらえる事が出来る。また、ホワイトボード用紙があり、グループの話し合いにも活用できる。

（6）印刷・製本等

- ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、教材などが適切である。
- ・ワイドなA B版で見やすい。
- ・環境にやさしいインク糊を使用している。

4. 委 員 名

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

会 長	記 伊 哲 也	大川市教育委員会	教育長
副会長	安 田 昌 則	大牟田市教育委員会	教育長
監 事	平 山 浩 一	大木町教育委員会	教育長
委 員	屋 形 朋 子	みやま市教育委員会	教育長代理
委 員	沖 毅	柳川市教育委員会	教育長

(2) 選定委員会（総括部会）

委員長	大川市立大川小学校	森 茂
副委員長	大牟田市立羽山台小学校	山田 恵子
委 員	みやま市立水上小学校	小川 淳
委 員	柳川市立中山小学校	塩塚 喜広
委 員	大牟田市立三池小学校	宮本 啓弘
委 員	柳川市立蒲池小学校	本田 透
委 員	柳川市立矢留小学校	横溝 秀樹
委 員	柳川市立豊原小学校	福山 晃
委 員	柳川市立両開小学校	板橋 和宏
委 員	大牟田市立高取小学校	古庄 健次
委 員	大川市立川口小学校	塚本 正典
委 員	大木町立大莞小学校	栗原 茂雄
委 員	みやま市立桜舞館小学校	江口 里美
委 員	大牟田市立駛馬小学校	田中 啓吾
委 員	みやま市立二川小学校	大坪 淑子
委 員	柳川市立昭代第二小学校	福山 幸子
委 員	大牟田市立天領小学校	古賀 信弘
委 員	大牟田市立大牟田中央小学校	石橋 実
委 員	大牟田市立橘中学校	長 裕二
委 員	大木町立大木中学校	新谷 浩二